

【児発】事業者向け	事業所名	半田市立つくし学園	
	アンケート実施期間	令和 3年 11月 10日から令和 3年 11月 19日まで	
	配布数	22枚/24枚(回収率 92%)	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	24	0	0	・限られたスペースの中で場所の使い方を職員間で話し合い、過ごしやすいようにしている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	24	0	0	・子ども:職員=3:1で配置し、活動やクラス構成を考えている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	24	0	0	・肢体クラスはバリアフリー化されている。 ・動線を考えて環境を配慮している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21	3	0	・子どもたちが気持ちよく健康に過ごすことができるよう、毎日掃除や消毒を行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	23	1	0	・日々の個別支援記録とクラス活動の振り返りをしている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	24	0	0	・評価内容や改善点等を職員間で共有し、改善に努めている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会やホームページ等で公開しているか	22	2	0	・紙面にまとめて保護者に配布している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	23	1	0	・監査で指摘されたことは職員間で共有し、業務改善に努めている。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	24	0	0	・職場内、外の研修機会を多くもっている。 ・予算が限られているため、らいふや福祉協会、関係機関主催の研修にも参加し、研修機会を多く持つようにしている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	24	0	0	・障害児利用計画、入園児の面接とアセスメントシート、保護者とのコミュニケーション(療育参加日、連絡帳、面談等)で個々のニーズや状況を把握し、支援計画を作成している。	・アセスメントシートで、肢体不自由児にはそぐわない内容の項目があるので検討する。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	22	2	0	・すこやかシート、育成記録等を使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	24	0	0	・個別支援計画の中で子どもの状況や発達年齢、家庭の状況などに配慮し、具体的な支援内容を明記している。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	24	0	0	・職員間で支援計画を共有し、計画に沿った支援を行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	24	0	0	・リーダー会議で園全体の活動を把握し、さらにクラスごとで具体的な活動について立案している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	24	0	0	・一週間単位で日案として各日の活動を計画し、子どもの姿や関心事・季節・行事等に応じて色々な活動を考えている。	

	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	24	0	0	・子どもの状況に応じて計画を作成し、クラスの職員間で共有している。 ・発達課題に応じたグループ活動を行っている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	24	0	0	・当日の朝、週案をもとにして支援内容や役割分担を確認し実施している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	24	0	0	・療育終了後クラス内で振り返り、反省をしている。またそれを翌日、翌週以降の活動や支援内容に反映させている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	24	0	0	・日々、個別支援記録を記入し、支援の検証・改善を行っている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	23	1	0	・3～4か月に1度、定期的に相談員がモニタリングを行い、職員は報告書を見て、計画の見直しをしている。	
関係機関 や保護者 との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	24	0	0	・園長、主査などが参加している。 ・状況に応じて担任も参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	24	0	0	・定期的に連携会議を行い、障がい者相談支援センター、保健センターや保育園、幼稚園、他事業所等との情報共有、就学、就園先との引継ぎ連携をしている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	24	0	0	・保健センター、障がい者相談支援センターなど関係機関と連携をとり支援を行っている。また必要に応じてケース会議を開いている。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	23	1	0	・医療機関とは診断書の発行(療育をするうえで必要な情報の明記)をしてもらっている。 ・半田病院の小児科医との連携に加えて、園医との連携も図れるよう三者での話し合いをもった。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	22	2	0	・見学や交流などを行い、情報共有をしている。 ・ふれあいの引き継ぎ、療育要録を作成している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	24	0	0	・保護者のサポートブック作成の支援をしている。 ・書面や面談で学校への引継ぎを行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	23	1	0	・ケース検討をして情報共有し、一貫した支援ができるよう連携を図っている。 ・障がい者相談支援センターのアドバイスを参考にしている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	24	0	0	・コロナ対策で大人数での交流はできていないが、3～4人での交流は時期を見て行っている。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	24	0	0	・園長、主査、地域支援事業職員などが参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	24	0	0	・送迎時や療育参加日などに保護者とのコミュニケーションを図っている。 ・年4回の個人懇談会、日々の連絡帳等で共通理解をしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	24	0	0	・専門家を迎えて保護者参加の講座を開いている。 ・地域支援事業で年間2回ペアレント・トレーニングを行っている。 ・園児の保護者向けにはペアレントプログラムを行い、希望者が受講した。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	24	0	0	・入園契約時、変更時に書面を用いて説明を行っている。	

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	24	0	0	・年に4回懇談会を行い説明し、同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	24	0	0	・必要に応じ、担任、園長が助言等の支援を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	24	0	0	・コロナ禍で保護者同士で集まる機会はほとんどできなかったが、父母の会の冊子作成の援助をしたり、父母の会活動の相談や支援をしている。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	24	0	0	・担任だけで判断するのではなく、すぐに上司に報告をしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	24	0	0	・毎月の園だよりやほけんだより等を配布している。 ・コドモンを利用して保護者への臨時の連絡をしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	23	1	0	・施錠できるところで管理し、十分注意している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	24	0	0	・相手の気持ちを考え、話をすることを意識している。 ・必要に応じて保護者対応の研修を行っている。 ・外国籍の保護者には、手紙の内容や連絡事項を担当がわかりやすい言葉や図などを使って伝えている。 ・必要な時には通訳者や通訳機を利用する。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	19	5	0	・みんなの南吉展にて、園児の作品展示と事業所紹介を行った。 ・園の祭りがコロナ禍で中止となったので、園の活動の様子を伝える手紙を作成し、関係機関に送った。	・コロナ終息後には再度地域に向けた祭りを開催する。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	24	0	0	・いろいろな想定で訓練を行っている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	24	0	0	・月に一度の避難訓練に加え、津波発生時を想定して近隣の看護学校と連携し、看護学校への避難訓練を行った。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	24	0	0	・入園時と、家庭訪問等で確認すると共に家庭での状況についても連絡帳や口頭で確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	24	0	0	・対象児はアレルギー生活管理表を提出してもらい、毎月園長又は主査、担任、調理員と打ち合わせを行っている。また食事提供前に園長又は主査と担任で確認をしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	24	0	0	・記録をとり、職員間で情報共有し事故防止に努めている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	24	0	0	・地域福祉課主催の虐待防止研修を全員が受講した。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	22	2	0	・危険が考えられる場面ではやむを得ず身体拘束をする場合があることを丁寧に説明し計画に明記し、同意をいただいている。	